



代表取締役社長
技術士（建設） 植田 健二

日頃から弊社をご愛顧頂きまして、誠にありがとうございます。

弊社は、平成 5 年に再構築を行い、新たなスタートを切って、早 17 年が過ぎました。地域の皆様の多大なご支援を賜り、おかげさまで技術力・人材力におきまして、一歩一歩ではありますが前進しており、北海道開発局から受注した業務で 4 年続けて局長賞を受賞することができました。

（株） 開発工営社 は昭和 30 年 5 月に測量調査業として創業され、建設コンサルタント業への事業拡大のため、平成 5 年 6 月に再構築が行われ現在に至っています。当初、35 名であった社員も現在 156 名（平成 22 年 11 月現在）となり、事業本部制に移行した現在、総合技術本部（情報企画室、品質管理室、施工対応室）、水工事業本部、交通事業本部、共通事業本部（地質部、環境部）から構成される組織となりました。

また、技術の最高資格である技術士取得者も 83 名（延べ人数）を数え、2 年前からは新たに「社内技術士会」を創設し、技術力はもちろん、「技術者倫理の向上」の研修会等も積極的に行いながら、技術者意識の向上を目指しているところです。

昨今の建設コンサルタントを取り巻く環境は厳しく、公共事業が悪者扱いされる風潮にあります。しかし、インフラ整備ができていない国に住む方々が、どれだけ大変な思いをするかは、世界の開発途上国の災害状況を見れば明白であります。我々はインフラ整備を通じて国民の生命と財産を守り、地域社会に貢献するという誇りを持ち、全社一丸となって、北海道の「良きパートナー」として取り組むことを約束します。

今後とも、弊社の技術力をご活用下さいますよう、お願い申し上げます。